

平成30年度
事業報告書

学校法人御船学園
平成音楽大学

1. 法人の概要

1.1 法人と設置する学校

法人名 学校法人 御船学園
住 所 熊本県上益城郡御船町大字滝川字東原 1658 番地
学 校 平成音楽大学

1.2 沿革

昭和47(1972)年3月 学校法人御船学園設立認可
初代理事長に出田憲二就任

昭和47(1972)年4月 **熊本音楽短期大学開学**
音楽科（声楽専攻30人、器楽専攻30人）総定員120人
初代学長に出田憲二就任

昭和48(1973)年2月 第1回定期演奏会（於）熊本市市民会館
以後毎年開催、現在は『華麗なる音楽の祭典』として継続している。

昭和48(1973)年4月 教職課程開設
熊本音楽短期大学専攻科開設

昭和50(1975)年8月 運動場用地購入、平屋建て寄宿舍落成

昭和51(1976)年4月 音楽科定員増員
（入学定員：声楽専攻30人、器楽専攻70人 総定員200人）

昭和51(1976)年7月 2号館校舎落成

昭和53(1978)年2月 女子寮5階建落成

昭和56(1981)年2月 体育館兼演奏ホール落成

昭和59(1984)年9月 3号館校舎落成

昭和60(1985)年1月 4号館校舎落成

昭和62(1987)年4月 阿蘇研修所建物落成

平成 9(1997)年9月 熊本音楽短期大学25周年記念 ニューヨーク・カーネギーホール公演

平成11(1999)年3月 第1回九州音楽コンクールを開催

平成12(2000)年12月 音楽療法士（2種）：全国音楽療法士養成協議会認定
阿蘇研修所を日本童謡館に譲渡
平成音楽大学設置認可
音楽学部音楽学科教職課程認可（中学・高校一種免許（音楽））

平成13(2001)年4月 **平成音楽大学開学**
音楽学部音楽学科（入学定員100人）
初代学長に出田敬三就任

平成14(2002)年4月 音楽療法士（1種）；全国音楽療法士養成協議会認定
音楽学科「ミュージック・プロフェッショナル・コース」新設

平成17(2005)年3月 音楽学部幼児音楽教育学科指定保育士養成施設指定
音楽学部幼児音楽教育学科教員免許課程認可（幼稚園教諭一種免許状）
音楽専攻科教員免許課程認可（中学校教諭専修免許状(音楽)、高等学校教諭専修免許状(音楽)）

平成17(2005)年4月 音楽学部幼児音楽教育学科開設（入学定員30人）
音楽学科入学定員変更（100人→70人）
音楽専攻科（入学定員10人）開設

平成17(2005)年4月 学校法人御船学園理事長に出田敬三就任

平成18(2006)年7月 音楽棟（CREA-M棟）落成

平成19(2007)年10月 集会場（コミュニティーセンター）落成

平成21(2009)年11月	音楽療法士(2種) ; 全国音楽療法士養成協議会認定
平成22(2010)年6月	韓国新羅大学校芸術大学との姉妹校提携
平成22(2010)年6月	熊本市キャンパス・サテライトステージ設置
平成22(2010)年10月	附属音楽教室開講
平成24(2012)年4月	「幼児音楽教育学科」を「こども学科」に名称変更
平成26(2014)年 8月	平成音楽大学アート・イベント・プロジェクト新設
平成26(2014)年 10月	「肥後熊本異空間オペラ“魔笛”」上演
平成28(2016)年3月	女子寮を閉鎖
平成28(2016)年4月	熊本地震にて大規模な被災
平成28(2016)年6月	新駐車場を開設
平成29(2017)年4月	入学定員を変更 音楽学科 70人→60人 こども学科 30人→40人
平成30(2018)年3月	新学食・カフェ棟「MUSIC PARK」(音楽の広場)完成。4月より正式運用
令和元(2019)年	新本館、トータルミュージックスタジオ完成、旧本館リニューアル完成

1.3 建学の精神

(1) 本学の使命・目的

音楽文化を発信する人間形成

本学の前身・熊本音楽短期大学の建学は、昭和46(1971)年に、「九州から音楽文化を発信させたい。九州に音楽大学を。」として立ち上がった、創立者出田憲二の熱い情熱と、その意に賛同して集まった先達の行動と思いに始まる。

建学者たちの問題意識は、「文化の重点が中央に偏在し、地方文化の発展が遅々としている」現状を打破するために、音楽文化を発信する人材を九州で育てることであった。

(2) 教育の基本理念

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ① 音楽芸術の真理の探究 ② 創造性豊かな心を持つ人間育成 ③ 地域社会の音楽文化の発展に寄与する人材育成 ④ 福祉の進展に寄与する人材の育成 |
|--|

平成13(2001)年、熊本音楽短期大学を四年制大学に改組して、九州唯一の四年制音楽単科大学を開設するに当たり、上記の4点を、使命・目的実現のための基本理念として掲げた。

この4点は、学則第2条において「本学は、教育基本法及び学校教育法の精神に則り、広く知識を授けるとともに、音楽芸術の真理の探究と技術の練磨を教授研究し、創造性豊かな心を持つ人間形成を図る。もって人類の文化と福祉の進展に寄与する有為な人材の育成を目的とする。」というかたちで文章化している。

本学はこの4つの基本理念を「建学の精神」と位置づけている。

1.4 設置する学校・学部・学科等

平成音楽大学	音楽学部	音楽学科
		こども学科
	音楽専攻科	
	ミュージック・プロフェッショナル・コース	

(1) 音楽学科の目的

音楽芸術の学修を通じて情操を高め、「豊かな感受性」と「和の心」を涵養し、「想像

力」と「健全な身体」を養成すると共に、本学が音楽文化の発信地となることを目指す。

(2) こども学科の目的

乳幼児期に音楽が与える感性、美的情操や心理的情緒等の効用につき専門的に教育・研究し、保育所や幼稚園において適時適切に音楽を提示できる保育士、幼稚園教諭を育成する。

1.5 学生数(平成 30 年 5 月 1 日)

学部	学科	学年	定員	在籍数
音楽学部	音楽学科	1 年	60	21
		2 年	60	21
		3 年	70	28
		4 年	70	34
		計	280	104
	こども学科	1 年	40	26
		2 年	40	32
		3 年	30	36
		4 年	30	36
	学部生計			400
音楽専攻科			10	7
ミュージック・プロフェッショナル・コース			若干名	1
総計				242

1.6 役員の概要 (平成 30 年 5 月 1 日)

理事長 出田 敬三
 理事 岩田 尚子
 中村 晴治
 栗谷 利夫
 大島 紀雄
 石原 義光
 片桐 英夫
 出田 雄人

監事 沖田 昌史
 中田 泉

1.7 評議員の概要 (平成 30 年 5 月 1 日)

出田 節子	出田 敬三
福島 則義	大島 紀雄
甲斐 田鶴子	出田 雄人
池内 美代子	石原 義光
南 恵子	岩山 恵美子
富永 若子	亀井 裕子
別城 博士	山田 隆彦
柴田 和男	浦上 仁史
	宇都 香織

1.8 教職員の概要 (平成 30 年 5 月 1 日)

教授	准教授	専任講師	専任教員計
11 人	5 人	5 人	21 人

客員教授 15 人
 非常勤講師等 104 人

専任職員	嘱託職員	兼務
------	------	----

20人	3人	7人
-----	----	----

2. 事業の概要

2.1 熊本地震

平成 28 (2016) 年 4 月の熊本地震以来、復旧・復興に取り組んできたが、第 1 楽章として学生の食事・居場所の確保のための新学食・カフェ棟が平成 30 (2018) 年 3 月末に完成し、4 月より運用を開始した。新本館等も着工し、平成 31 (2019) 年には完成予定である。このような状況ではあるが、大学の教育・行事においては予定通り遂行する事ができた。

2.2 教学の取組み

(1) 文化芸術論

一流の演奏や舞台、芸術作品などを体験する、また本学主催の各種演奏会に出演または鑑賞する事によって、音楽家・教育者・社会人としての態度や精神を音楽大学の学生として習得することを目的として毎年授業として行っている「文化芸術論」を平成 30 年度も行った。

本学主催の演奏会出演・鑑賞はもちろんの事、F. ジュジアーノ客員教授によるピアノレッスンおよび公開講座、マリンバの出田りあ客員教授の公開レッスン、ジャズピアニストの国府弘子客員教授による JAZZ 公開講座の他、外部より講師を招き、日本音楽著作権協会 (JASRAC) による「著作権講座」や「日本の伝統文化講座」等も行ったほか、劇団四季公演「ソング&ダンス'65」の鑑賞など一流の演奏・舞台を経験させた。

(2) フレッシュマンゼミ

初年度教育として、大学の学舎知的活動への動機づけ、さらに人間関係づくりのスキルや能力の向上をねらって「フレッシュマンゼミ」を平成 30 年度も実施した。今年度は「読む、書く、話す、聴く」力の育成を柱にし、4つのテーマを掲げた。

- ①大学の学びに必要な「読む、書く、聴く」力
- ②学生同士の人間関係に必要な「話す、聴く」力
- ③自主的な学びに必要な「読む、書く、話す」力
- ④「読む、書く、話す、聴く」を楽しくする礼儀・マナー

各テーマに応じた学習内容、例えば、「上手な話の仕方、聴き方」「自分も相手も尊重した自己主張」「効果的な読書法」などを行っている。なお、学生が主体的に学べるようにグループ活動を積極的に取り入れ、活発な活動がみられるようになった。また、学科やコースの枠を越えた仲間づくりが展開された。

2.3 学生支援の取組み

(1) 奨学金制度

入学試験において成績優秀者に対して特待生制度と給付生制度があり、返済不要の本学園独自の奨学金制度として設置している。

(2) キャリア支援

学生がキャリアプランを意識するための支援講座として「文化芸術論」という科目の中で、キャリア講座を全学年に必須科目として実施した。「文化芸術論」は、文化、芸術、キャリアなどを学ぶ総合講座として全学一致で取り組んでいる。また、学生・就職課では学生に対して就職に向けた説明会や相談会を行い、就職状況をよりよいものとするための業務を行っている。

これまで 1 号館 2 階の就職資料室には就職に関する資料を掲示・設置し、情報をインターネットで検索するためのパソコンを設置していたが、平成 28 (2016) 年 4 月の熊本地震により建物が被災したため体育館 (演奏ホール) に場所を移して、学生が利用できる環境を作っている。

【平成 30 年度の主な取り組み】

- ①全学年に進路希望調査を実施（4月）
- ②就職委員による学生への個人面談の実施（7月、11月）
- ③キャリア講座の実施
 - ・株式会社マイナビによる就職支援講座（6月）
（就職活動に向けての自己分析と自己PRの作成）
 - ・株式会社リクルートキャリアによる就職支援講座（10月）
（音楽を活かした職種・就職と人生・自己分析）
- ④企業団体説明会の実施
 - ・カワイ音楽教室講師説明会（グレード試験についての説明を含む）
 - ・ヤマハシステム講師説明会
 - ・自衛隊説明会（音楽隊含む）
 - ・熊本県警察説明会（音楽隊含）
- ⑤ヤングハローワークによる個別面接指導
- ⑥教員採用試験説明会の実施
 - ・熊本県教員採用試験説明会　・熊本市教員採用試験説明会
- ⑦保育所・幼稚園就職説明会の実施
 - ・熊本県保育協会説明会　・熊本市保育連盟説明会
 - ・熊本市私立幼稚園協会説明会
- ⑧教育支援ボランティアの推奨

(3) 学生サポート、メンタルケア等

- 相談室を設置して健全で快適な学生生活をサポートしている。専門のカウンセラーのほか専任教員3名がこの任にあっている。年度初めにUPI（精神健康調査）を行ってそれぞれの学生に応じた対応をしている。また、気軽に色々なことを相談できる「学生支援センター」を設置し、さらにきめ細やかな対応ができるようになった。
- 御船警察署に講師派遣を依頼して平成30（2018）年10月に護身術教室を実施した。

2.4 音楽活動

平成30年度も地域社会の音楽文化の発展に寄与するという学園の目的を達成するため様々な活動を行った。

■主催演奏会・セミナー等

- ・ファゴット・オーボエセミナー
平成30年5月19（土）・20日（日）／平成音楽大学
- ・第14回ピアノフェスティバル
平成30年5月23日（水）／平成音楽大学サテライトステージ
- ・2018教員コンサート
平成30年6月5日（火）・6日（水）／平成音楽大学MUSIC PARK “音楽の広場”
- ・平成音楽大学プラスオーケストラ2018演奏会
平成30年6月21日（木）／熊本県立劇場コンサートホール
- ・松崎伶子教授・平良大司朗講師「沖縄会場・ピアノクリニック」
平成30年7月15（日）／カメラのモリヤマ（那覇市）
- ・「呼吸法講座」
平成30年7月17日（火）／平成音楽大学スタジオ・ヴェルディ
- ・出田りあ客員教授「マリンバ特別レッスン」
平成30年7月16日（月）／平成音楽大学コンサートルーム
- ・2018 Heisei Music Festival
平成30年8月26日（日）／平成音楽大学サテライトステージ
- ・出張セミナー「ファゴット・オーボエ・フルート講座」
平成30年9月1日（土）～2日（日）／東海大学付属福岡高等学校
- ・田中正敏講師「クラリネットセミナー」

- 平成30年9月16（日）／平成音楽大学サテライトステージ
- ・土野研治客員教授「音楽療法特別講座」
平成30年9月29日（土）／平成音楽大学サテライトステージ
- ・フィリップ・ジュジアーノ客員教授「ピアノレッスン・ピアノマスタークラス」
平成30年10月15日（月）・16日（日）／平成音楽大学ミュージックパーク
- ・2018平成音楽大学「音楽の日」
平成30年10月28日（日）／熊本城 桜の馬場 城彩苑・平成音楽大学サテライトステージ
- ・第9回サテライトステージコンサート
平成30年10月28日（日）／平成音楽大学サテライトステージ
- ・平成音楽大学「2018華麗なる音楽の祭典」
平成30年12月3日（月）／熊本県立劇場コンサートホール
- ・平成音楽大学「2018華麗なる音楽の祭典 in 福岡」
平成30年12月4日（火）／アクロス福岡シンフォニーホール
- ・熊本空港クリスマスコンサート
平成30年12月22日（土）／阿蘇くまもと2Fふれあい広場
- ・平成音楽大学「ヨーロッパ音楽研修旅行」
平成30年12月23日（日）～12月30日（日）
- ・平成音楽大学コンサートinウィーン
平成30年12月26日（水）／モーツァルトハウス・ベーゼンドルファー・ホール
- ・音楽制作コース「ライブコンサート 音創造！」
平成31年1月23日（水）／平成音楽大学MUSIC PARK “音楽の広場”
- ・VOCALサロンコンサート Vol. 12
平成31年1月29日（火）／平成音楽大学MUSIC PARK “音楽の広場”
- ・ヴァレンタインコンサート
平成31年2月14日（木）／平成音楽大学オルガンホール
- ・音楽教育コース・音楽療法コース卒業論文発表会
平成30年2月15日（金）／平成音楽大学モーツァルトホール
- ・子ども学科ミュージックフェスティバル
平成31年2月17日（日）／鶴屋ホール
- ・平成音楽大学 平成30年度卒業・修了演奏会
平成31年3月13日（水）／平成音楽大学サテライトステージ
- ・ファゴット・オーボエセミナー
平成31年3月30（土）・3日（日）／鹿児島実業高校

■附属機関演奏会・協力演奏会等

- ・九州音楽コンクール第20回記念「受賞者コンサート」
平成30年5月26日（土）／熊本県立劇場コンサートホール
- ・細川ガラシャ展・記念コンサート オペラ「細川ガラシア」-ハイライト公演-
平成30年8月19（日）／熊本県立美術館吹き抜けホール
- ・熊本オペラ芸術協会「2018サマー・オペラフェスティバル」
平成30年9月22日（土）／平成音楽大学サテライトステージ
- ・ハープとヴァイオリンの夕べ
平成30年10月2日（火）／平成音楽大学サテライトステージ
- ・同窓会「響和会」第2回トゥールモンドコンサート 音楽とマルシェの夕べ
平成30年10月11日（木）／上通pavilion
- ・熊本オペラ芸術協会「2019ニューイヤー・オペラフェスティバル」
平成31年1月19日（土）／平成音楽大学サテライトステージ
- ・同窓会「響和会」熊本県支部「フレッシュコンサート」
平成31年2月3日（日）／平成音楽大学サテライトステージ
- ・第15回平成音楽大学打楽器専攻生有志による打楽器アンサンブル
平成31年2月9日（土）／熊本市健軍文化ホール
- ・平成音楽大学サクソフォン室内楽の夕べ
平成31年2月10日（日）／日本福音ルーテル健軍教会
- ・第21回九州音楽コンクール／ピアノ課題曲公開講座
平成31年2月24日（日）／平成音楽大学サテライトステージ
- ・第21回九州音楽コンクール／ピアノプライベートレッスン
平成31年3月3日（日）／平成音楽大学サテライトステージ
- ・第21回九州音楽コンクール
平成31年3月21日（木・祝）・23日（土）・24日（日）・25日（月）

2.5 社会貢献活動

音楽活動に限定することなく、広く文化活動や奉仕活動にも取り組んだ。

(1) 九州音楽コンクール

こどもたちに音楽活動の裾野を広げる。また大学生・社会人に対して演奏技術向上と評価を受ける機会を設ける。そしてそれぞれが受賞、評価を受けることにより音楽への向学心を高めることを目的として毎年開催しており、平成30(2018)年3月には第20回目の記念の大会を行い、平成30(2018)年5月26日(土)に九州音楽コンクール第20回記念「受賞者コンサート」を熊本県立劇場で開催した。このコンサートも3月のコンクールと同様に、文化庁をはじめ熊本県、熊本市や九州各県からの後援をいただき、ヤマハ、カワイ、スタインウェイ、ローランド等の世界的な楽器製造各社よりの協賛、そしてANA(全日本空輸株式会社)からも特別協賛をいただいたが、今回の第20回記念「受賞者コンサート」では文部科学大臣賞をはじめいただき表彰を行った。

平成31年(2019)3月21日および23日～26日には文化庁をはじめ多数の後援・協賛をいただき「第21回九州音楽コンクール」を開催した。今回も中国、ベトナム、カンボジアなど海外から前回は上回る参加申し込みがあり、国際的なコンクールとなった。第21回のコンクール優秀者によるコンサートを令和元(2019)年5月25日に熊本県立劇場で開催予定である。このコンサートではグランプリ・出田賞をはじめ、文部科学大臣賞、熊本県知事賞、熊本市賞そして協賛各社からのANA賞、ヤマハ賞、カワイ賞、スタインウェイ賞、ローランド賞の表彰も行う。

(2) 附属音楽教室

平成音楽大学熊本市キャンパス・サテライトステージにおいて「みんなで楽しくやさしく歌う」講座を始めとする社会人向け、受験生向けの講座やレッスンをしている。平成30年度は、さらなる講座の充実に向け新講座として一般の方々を対象に「音楽療法サロン」を5月に開講し、前期6回、後期6回(全12回)行った。12月からは特別支援教育に携わる先生・施設職員のための「音楽療法の技法」(全4回)を開講し、両講座とも好評を博した。両講座とも平成31年度も引き続き開講する。また、「みんなで楽しくやさしく歌う」講座においては「平成音楽大学合唱フェスタ」にも毎年出演し演奏を披露している。

(3) 社会での奉仕活動(ボランティア等)

- ・平成30年度も県内の学校や企業などで組織する社会活動グループ「熊本いいくに会」では毎月の公園や学校のトイレ清掃、熊本暮らし人祭り「みずあかり」、肥後花菖蒲株分けなど様々なボランティア活動を行った。
- ・御船町の隣町である嘉島町の小学校・中学校において授業支援のボランティアにも多数参加した。
- ・御船警察署から委嘱を受けた職員が青少年の補導活動や御船町青少年健全育成会議への参加を通じた貢献活動を行った。
- ・御船町との包括協定
本学と御船町とが、人材育成、産業振興、地域作り等様々な分野において、町の社会、経済等の活性化および課題解決に関し、双方の知的・人的資源を活用するとともに、大学と御船町とが相互に連携協力することにより、活力ある豊かな地域社会の形成および発展に寄与することを目的とし平成29年に御船町と協定し、平成30年度より双方の知的・人的財産を活用し、音楽をはじめとする教育・文化による御船町の活性化、地域が支える豊かな子育て支援の推進等を行った。
- ・熊本キワニスクラブ「サークルK」
世界に広がる三大社会奉仕団体の一つとである「国際キワニスクラブ」より、全国の大学で5番目となるサークルK(大学生ボランティア組織)に認定され、平成30(2018)年11月5日(月)に認証状授与式が本学で行われた。サークルKの活

動の一環として、御船町子ども食堂や保育園等において演奏・パフォーマンスを行った。

(4) 小・中学校・高校への協力との連携

毎年行っている御船高等学校芸術コース音楽専攻の生徒たちのレッスンを平成30年度も1年間を通じ5回行った。

御船町との包括協定の一環として、御船町立御船小学校金管バンド部の指導、御船町立御船中学校の合唱コンクールに向けての指導などを行った。

2.6 さまざまな活動

(1) 教員免許更新講習

教員免許を持つ人たちに課せられた10年間の有効期限を更新するために必要となる教員免許更新講習を平成30年度も実施した。選択領域4講座を文部科学省に申請し開設承認を受けた。本学の教授陣を講師として8月21日～24日の4日間で各6時間の講習を実施し、延べ136人が受講し、現役で教員を続けていくために必要となる更新講習受講証明書を発行した。

(2) 大学コンソーシアム熊本

熊本県の高等教育機関14校と熊本県、熊本市とで組織する「大学コンソーシアム熊本」の一員として様々な活動を行った。活動内容は、各教員による研究者アーカイブへの登録、江津湖清掃活動への参加など多岐に及んだ。

また、組織内には教職員による各部会のほか、各校の学生たちが共同して社会活動を行うグループが設置されており、本学の学生たちも江津湖清掃活動や熊本暮らし人まつり「みずあかり」などの社会活動に参加した。

2.7 校地・校舎の状況

(1) 校地	増加分	減少分	従来所有分	現状
	0㎡		34,671.56㎡	35,833.56㎡ (内借用 1,162㎡)

(2) 校舎	増加分	減少分	従来所有分	現状
	0㎡	(注)	10,357.29㎡	10,624.10㎡ (内借用266.81㎡)

(注) 平成28年熊本地震で本学の校舎は甚大な被害を受け、1号館と2号館は撤去し、新たな校舎を現在建設中である。上記の表には、これによる面積を反映していない。

(3) 学生駐車場

学生用第二駐車場(約1800坪)を新設し、平成28(2016)年より供用を開始した。約150台が駐車できる。熊本地震の影響による学園シャトルバスの車庫解体に伴いシャトルバスも駐車している。

2.8 入試・入学状況（平成31年4月入学者）

学科	志願	合格	入学
音楽学科	32	31	26
こども学科	31	31	29
学部計	63	62	55
音楽専攻科	6	6	6
ミュージック・プロフェッショナル・コース	2	2	2
編入学	2	2	2

2.9 進路・就職状況（平成31年3月卒業者・5月1日現在）

学科	卒業	進学その他	就職希望 (就職活動中)	就職決定
音楽学科	20	6	1	13
こども学科	33	1	1	31
学部計	53	7	2	44

進学その他の内訳 音楽学科 進学6 / こども学科 就職希望なし1